

聖隷福祉事業団病院群合同脳神経外科 専門医研修

Neurosurgery

聖隷福祉事業団病院群では豊富な症例数を生かして脳神経外科専門医研修医の募集を行う。当院は昭和40年代より脳神経外科研修医を独自に募集し、専門医に育てている。2004年からの新臨床研修制度以降でもすでに4人の専門医研修医が当院の専門医研修プログラムで研修している。2011年度からは、脳神経外科学会の専門医研修プログラムが変更になるが、当院は聖隷三方原病院、聖隷沼津病院、聖隷横浜病院と提携しこれまで同様に専門医研修医を募集する。

プログラム概要 (下記の内容にて脳神経外科学会 専門医研修プログラム申請)

基幹施設		聖隷浜松病院	施設番号	A-151
プログラム 責任者	氏名	田中篤太郎		
	専門医番号	2228		
研修施設一覧		1	聖隷三方原病院脳神経外科	
		2	聖隷沼津病院脳神経外科	
		3	聖隷横浜病院脳神経外科	
関連施設一覧		1	浜松医科大学脳神経外科	
プログラム全体での指導医数		19		
プログラム全体での年間手術数		1142(うち定位放射線手術 194) (2010年実績)		
腫瘍 (件数)		358(うち定位放射線手術 194)		
血管障害 (件数)		167		
外傷 (件数)		223		
設備	SPECT/PET	有		
	ナビゲーション	有		
	電気生理学的モニタリング	有		
	内視鏡	有		
	定位脳手術装置	有		
	放射線治療装置	有		
サブスペシャリティー学会 の支援状況		定位・機能神経外科学会		
		認定施設数	(1)	
		技術認定医数	(2)	
		脊髄外科学会		
		指導医数	(0)	
		認定医数	(0)	
		脳神経血管内治療学会		
指導医数	(1)			
認定医数	(1)			
神経内視鏡学会				
技術認定医数	(1)			

聖隷浜松病院 脳神経外科

病院長	堺 常雄	S45	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科部長	田中篤太郎	S56	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中外科学会専門医
てんかん科部長	山本貴道	S61	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 米国医師資格
主任医長	稲永親憲	H04	日本脳神経外科学会専門医 病理解剖医
主任医長	藤本礼尚	H10	日本脳神経外科専門医 カナダてんかん専門医
医 員		H16	後期研修医 国内留学中
医 員	中戸川裕一	H17	後期研修医 ITB 療法認定医 JATEC プロバイダー
医 員		H17	後期研修医 国内留学中
専門医研修医	神尾佳宣	H19	
専門医研修医	釵持博昭	H20	

聖隷三方原病院 脳神経外科

副院長	宮本恒彦	S54	日本脳神経外科学会専門医
脳血管内部長	杉浦康仁	S57	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会指導医
脳神経外科部長	佐藤晴彦	S58	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 産業医
医 長	赤嶺壮一	H06	日本脳神経外科学会専門医
専門医研修医		H16	

聖隷沼津病院 脳神経外科

院長補佐 脳神経外科部長	松澤裕次	S57	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科 副部長	岩崎浩司	H02	日本脳神経外科学会専門医

聖隷横浜病院 脳神経外科

副院長 脳神経外科 部 長	太田 誠志	S63	日本脳神経外科学会専門医
脳血管内治療科部 長	坂田 義人	H62	日本脳神経外科学会専門医
医 長		H13	日本脳神経外科学会専門医

【対象】

2年の初期研修を終了し脳神経外科の専門医を目指す研修医を対象とする。

【一般目標 General Instruction Objective : GIO】

将来脳神経外科を専門にしようとする医師が脳神経外科疾患を適切に処置し管理できるために、基本的な知識と技術を習得し、診療に役立つ幅広い知識を身につける。また常に最新、最良の医療が行えるために、脳神経外科領域において、新しい知識及び技術を身につける習慣を養う。自らも研究を行うことによって科学的な立場で最新の研究を評価する能力を養う。有益な臨床経験、臨床研究はこれを積極的に報告し今後の医学、医療(疾病の診断、治療)に貢献する。

【行動目標 Structural Behavior Objectives : SBOs】(個人の習熟度に応じ多少のずれがありうる)

初年度(医師3年次 於聖隷浜松病院)

- ・脳神経外科初期研修プログラム(後述)の到達目標のすべてが指導医の指導が無くても実行できる。
- ・脳神経外科外来の一部の再診を担当することができる。

以下の項目の処置、手術の適応が判断でき、上級医の指導のもとに一部もしくはすべてを実施できる。

- ・脳室ドレナージ術
- ・V-P シヤント
- ・オムマヤリザーバー設置
- ・陥没骨折
- ・頭皮腫瘍
- ・頭蓋骨腫瘍
- ・頭蓋形成術
- ・慢性硬膜下血腫穿頭洗浄術
- ・前頭側頭開頭及び閉頭
- ・その他のテント上の一側開頭と閉頭
- ・減圧開頭術
- ・急性硬膜外血腫
- ・硬膜の縫合
- ・術前脳機能マップの作成
- ・血管内手術の助手

2年度(医師4年次 於聖隷浜松病院)

- ・初期研修プログラムを指導できる。
- ・初年度までの脳外科専門研修医を指導できる。
- ・脳神経外科外来の初診患者を上級医の指導のもとに担当することができる。
- ・脳神経外科の外来の再診を担当することができる。

以下の項目の処置、手術の適応が判断でき、上級医の指導のもとに一部もしくはすべてを実施できる。

- ・脳血管撮影
- ・脊髄造影
- ・定位的脳手術による生検、血腫除去
- ・急性硬膜下血腫
- ・前頭蓋底修復術
- ・開放された副鼻腔、側頭骨蜂巣の処置
- ・表在性の脳腫瘍
- ・転移性脳腫瘍(放射線治療、定位放射線治療の適応の判断を含む)
- ・外傷性脳内出血
- ・高血圧性脳内出血

- ・シルビウス裂の表面の解放(顕微鏡下)
- ・視神経の露出(顕微鏡下)

3年度(医師5年次 於聖隷三方原病院)

- ・2年度までの脳外科専門研修医を指導できる。
- ・上級医の指導のもとに初診患者を含むすべての脳神経外科外来を行うことができる。

以下の項目の処置、手術の適応が判断でき、上級医の指導のもとに一部もしくはすべてを実施できる。

- ・正中を越える開頭
- ・両側前頭開頭
- ・後頭下開頭
- ・小脳出血、後頭蓋窩減圧開頭
- ・シルビウス裂の深部の解放(顕微鏡下)
- ・視神経の露出、内頸動脈後交通動脈部の露出(顕微鏡下)
- ・頸椎椎弓除去術

4年度(医師6年次 聖隷沼津病院もしくは聖隷横浜病院もしくは関連病院)

- ・3年度までの脳外科専門研修医を指導できる。
- ・定位脳手術の適応を理解し助手が出来る。
- ・脳腫瘍の化学療法 of 適応を理解し自ら計画し実施できる。
- ・自ら基礎研究を行うことにより科学的な立場で最新の研究を評価する能力を養う。
- ・基本的な脳腫瘍の病理所見を理解し病理診断することが出来る。

以下の項目の処置、手術の適応が判断でき、上級医の指導のもとに一部もしくはすべてを実施できる。

- ・非 eloquent area の glioma 摘出術
- ・視神経管解放術
- ・円蓋部髄膜腫
- ・脊髄後方除圧
- ・脊髄前方除圧、固定術

5年度(医師7年次 於聖隷浜松病院)

- ・脳神経外科専門医試験に合格し専門医の資格を得る。
- ・4年度までの脳外科専門研修医を指導できる。
- ・脳神経外科外来の初診患者を単独で担当することができる。
- ・定位放射線外来、他院からのセカンドオピニオンを含めすべての脳神経外科外来が行える。

以下の項目の処置、手術の適応が判断でき、上級医の指導のもとに一部もしくはすべてを実施できる。

- ・頸部内頸動脈血栓内膜剥離術
- ・下垂体腫瘍(経蝶形骨洞)
- ・蝶形骨縁髄膜腫(中 1/3-外側 1/3)
- ・傍矢状洞髄膜腫
- ・シルビウス裂全長の解放
- ・大脳半球間裂解放
- ・glioma 摘出術
- ・浅側頭動脈中大脳動脈吻合術
- ・脳動脈瘤(内頸動脈後交通動脈部)クリッピング
- ・脳動脈瘤(中大脳動脈)クリッピング
- ・脳動脈瘤(前大脳動脈)クリッピング
- ・神経血管減圧術

- ・脊髄髄膜瘤
- ・新生児脳室腹腔短絡術
- ・脊髄前方除圧、前方固定術
- ・脳動静脈奇形全摘術

【外来診療】

初年度

原則として午前中は週 1 日の外来が duty。

2 年度以降

原則として午前中は週 2 日の外来が duty。

注) 処置、手術の実施に際しては、個人の習熟度に応じ多少のずれがあり得ます。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	8:00～ 脳外科カンファレンス 8:15～ 脳卒中科入院カンファレンスと回診				
		9:00 手術	8:45 脳外+リハビリ 総回診	9:00 手術	8:45 脳神経外科総回診
午後	13:00 脳血管撮影	19:00 以降 症例検討会	13:00 脳血管撮影	19:00 症例検討会	13:00 脳血管撮影
	19:00 症例検討会と抄読会 (隔週)		18:00 脳卒中退院時 カンファレンス 19:00 症例検討会		19:00 症例検討会